|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 2024第1,2,3 RUTC答えの永遠　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | |
| 2023年12月31日～2024年1月1日　週間祈りカード\_ 2024元旦祈り会 | | |
| １講：オリーブ山（園）-永遠のことを持たなければ-  待ちなさい(使1:1-8) | ２講：正確な契約-「集中しなさい-ただ-永遠の作品」  (使1:14，2:1-47) | ３講：永遠の遺産-挑戦しなさい  (使11:19) |
| イエスはオリーブ山(園) 40日間、神の国のことを説明。聖霊に満たされれば力を受けて証人になる。皆さんは永遠のことを持つべき。イスラエルは6回のわざわいを受け、しばらくしたら7回目のわざわいが臨んで流浪の民として散らされる。サタンの12の戦略が私たちの脳に刻印されて、たましいの中に刻印されているので、なくならない。Ⅱコリ5:17でキリストが来られて解決する再創造の働きでこそ可能  □序論  1.伝12:11　　　　2.イザ22:22-24  3.Ⅱコリ10:3-5神様みことばが私たちの中に入って来て、すべての強力な要塞を打ち壊す。サタンのやぐら、私たちの誤った考えを崩してしまう。  △みことばのように、神様のみことばがよく打ち込まれた釘のようであるべき。使1:14に神様の契約を持って集まって、ひたすら祈りに専念したのだ。永遠のこと、約束されたことを待ちなさいということだ。  □本論  1.永遠の契約を味わって待つべき。カルバリの丘で終わらせて、オリーブ山で答えを与え、マルコの屋上の部屋に行きなさいと言われた。  1) 24味わって待ちなさい。すべてのことは、脳から始まるので、脳を生かす長い呼吸をしなさい。  2)必ず25の答えが来る。これが神の国のことが成り立ったということ  3)必ず永遠ということが来て、作品になる  2.永遠の内容を待ちなさい  1)神様が与えられた7つのやぐらが刻印されるように待ちなさい。  2) 7つの旅程が根をおろすように祈りなさい。  3) 7つの道しるべが完全に体質になるように祈りなさい。  △まことの答えを受けようとするなら、神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、それに加えて与えられる。  3.約束されたことが来るときまで待ちなさい  1)イエスが直接おっしゃったこと三つ  (1)ただ　(2)唯一性　(3)再創造  2)神様の方法で味わって待つ  (1)制限的集中　主が与えられたことにだけ集中  (2)答えが見えれば選択的集中  (3)すべてのことが答えに変わるワンネス集中  3) 237、5千種族が見えるほど答えが来て、三つの庭が見える。金土日時代が見える。  △金土日時代があらゆる事を左右するだろう。エリート、堕落、学生たちを誘惑する時間がここからすべて出て来るだろう。レムナントを呼んで何を待たなければならないのか、何の答えから受けるべきなのかを教えれば良い。  □結論  1.RT7 　2.ヘブ11章の人々　3.初代教会の人々と同じ答え  △重職者、レムナント、教役者はキリストが与えられたことを待ちなさい。永遠のこと、永遠の内容を握って深く祈るほど良い。これから、神の国のことが成されるだろう。 | □序論  1.重要集中  1)契約は神様が与えられたことを握るべき(制限)  2)神様が答えられたこと、それが選択された集中。世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいますと言われた  3)神様は結局は、すべてを生かす答えを与えられえる。これがワンネス集中  2.集中は一致すること  1)三位一体の神様が2)私とともに3)御座の力で4)神の国のこと、この部分が世の中に起こる。これが一致することが集中  3.この集中は、なぜしなければならないのか  AD70－1948　この中に福音を持っていたとても少数0.1%の人々が世界を生かした。三位一体の神様が御座の力に私とともにおられ、神の国のことを成し遂げられる  313－1517　AD313から1517年まで福音が完全に崩れ始め。このとき、少数の福音を持っている、ただの人々が世の中を変えた  1517－2024　1517年から2024年。今、教会が門をみな閉ざすので、暗闇の世界に福音を伝えなさいと皆さんを呼ばれた。  2030－2080　レムナントは2030～2080の主役で、私たちはこれを準備させること  △神様が与えられる正確な契約を握って集中すれば、必ず永遠の作品が出て来る。  □本論  1.永遠の作品を作るのに集中しなければならない流れがある。必ず証拠を握って行くのだ  1)創3:15、出3:18　女の子孫がサタンの権威を打ちこわす力によってだけ世界福音化  2)イザ7:14インマヌエルの力によってだけ捕虜から解放  3)マタ16:16サタンはキリストの奥義を持った者を絶対に触ることができない。  2.使2章でどんな内容に集中したのか  1)三つの祭り(使2:1) 　2)三つの庭(使2:9-11)  3)使2:42に使徒の教えを受けて、ただ祈りに専念し、互いに交わりをして、ただ祈りに専念した。集中という金土日時代  △今日、契約を受けた皆さんは、考えを少しは直すべき。世界福音化の力は人にあるのではない。  3.結果  1)使3:1-12ペテロを通して足の不自由な人を立て起こした  2)使7:1-60ステパノの死。最高の影響を与えてアンティオキア教会まで建てられる  3)使8:4-8、8:26-40サマリア、エチオピアの宦官  △皆さん一人の祈りが世界を動かすことができる。御座の力は時空を超越するからだ。新しく始めなさい。  □結論  金曜日には本格的な癒やし運動をして、土曜日は世界を疎通するメッセージを握って(サミット)、聖日は答えを受ける日 | ヨハ6:63に、生かすのは霊だ。神の国が臨むことが先だ(マタ6:10、33、10:7、12:28-30、使1:3)。パウロは会堂で神の国を説明(使19:8)。Ⅲヨハ1:2にも、たましいが幸いを得ることが先だ。  1講:神様が与えられる永遠の受け継ぐことをあなたのことにしなさい。待ちなさい(使1:1-8)  2講:永遠の作品を作りなさい。契約を握って集まって集中(ただ)したがマルコの屋上の部屋の働き(使1:14、2:1-47)  3講:永遠の遺産を残して挑戦しなさい(使11:19)  □序論\_霊的世界は神様の世界なので無限大だ。  1.霊的に受け継ぐこと  1)神様の7つのやぐらを持っている人だ(神様と疎通)  2) 7大旅程は神様の計画を悟った人が行く。  3) 7つの道しるべは神様のみことばが成就する所  2.霊的作品1)三つの祭り15か国集い　2)三つの庭　集まって集中祈り3)金土日時代  3.霊的遺産永遠のやぐらを建てなさい  1) 237か国を生かすほど　2) 5000これが神様みこころ  3)教会の外に1千やぐらを建てる準備  霊的状態が優先だ。霊的サミットに先になってこそ世界征服が可能。霊的サミットに先になった7RT  □本論  1.パウロ(チーム) -受けた遺産  1)使9:15、19:8イスラエルと異邦人、王の前に立てる選びの器。神の国証し  2)ピリ3:8-21永遠の遺産を握った  3)ロマ16:25、26、27世々にわたる前、今、とこしえまである契約  2.使用した遺産  1)使13:1-4、5-12聖霊の導きを受ける祈り。不治の病の癒やし  2)使16:6-10、16:15、16:16-18、16:19-40門がふさがったが、神様がマケドニアでリディアに会うように。その後、不治の病を癒やして刑務所で働き  3)使19:1-7、8-20、21マルコの屋上の部屋の働き体験、ティラノで病人癒やし、ローマも見なければ  3.伝達した遺産(会堂で説明)  1)使17:1キリストの当為性　2)使18:4安息日、礼拝、祈り  3)使19:8神の国臨在が真の答え  □結論\_ 24祈り、25答え、永遠の作品  1.237、5000種族を癒やし、サミットにすること  2.教会の中に三つ庭を  3.金土日時代を開いて本当に力を受けること  音楽チーム　体育チーム(サッカー)　癒やしチームを作って237-5千種族へ  1.無限世界の力を受ければ、ただ、唯一性、再創造が出てきてシステムになる。  2.時空超越する力が生まれて、祈りで237、5千種族とつながる  3.空前絶後の答えが来れば挑戦 |